

令和7年度中学生チャレンジテスト

第1学年 国語

注意

- 1 テスト問題は、1ページから30ページまであります。先生の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙④（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はつきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 テスト実施時間は、45分です。

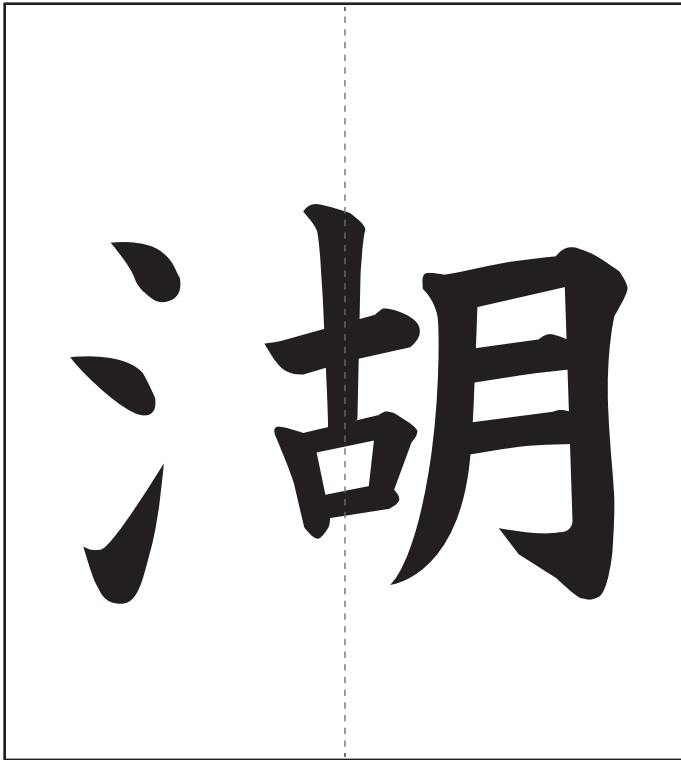


問題は、次のページから始まります。

□ 次の 1 ～ 4 の問いに答えなさい。

1 書写の授業で書いた次の【作品A】について、先生から助言を受けて【作品B】のように書き直しました。あとのア～エのうち、先生から受けた助言として適しているものを二つ選びなさい。

【作品A】



【作品B】



ア 「月」のはばをせまくして、「古」と「月」のはばを同じくらいにするとよい。
イ 「古」のはばを広くして、「古」と「月」のはばを同じくらいにするとよい。
ウ 「古」の位置を左にずらして、「古」と「月」の間を広くするとよい。
エ 「シ」^{さんずい}の位置を右にずらして、「シ」と「古」の間をせまくするとよい。

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

- ① 巻末^{まきすえ}の資料を参考にする。
- ② 生徒が司会を務^{つと}める。
- ③ 飛行機を操縦^{そうじゆう}する。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書^{かいしよ}でいねいに書きなさい。

- ① クダ^{くだ}に水を通す。
- ② お菓子^{かし}をキントウ^{きんとう}に分ける。
- ③ 車で荷物をユソウ^{よそう}する。

4

あとのア～エのうち、次の文と同じ意味を表している文として最も適しているものを一つ選びなさい。

大きな馬が美しい草原をとて元氣そうに走っている。

- ア 草原をとて美しい大きな馬が元氣そうに走っている。
- イ 元氣そうにとて美しい馬が大きな草原を走っている。
- ウ とて大きな草原を元氣そうに美しい馬が走っている。
- エ 美しい草原をとて元氣そうに大きな馬が走っている。

問題は、次のページに続きます。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(樋口広芳『生命にぎわう青い星』による)

1 次のア～エのうち、本文中の

A

 に入る言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア しかし

イ なぜなら

ウ それとも

エ したがって

2 次のア～エのうち、本文中の — 線部①のここでの意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 細かい点にまで注意をはらって

イ ほとんど手間をかけることなく

ウ 思い切ってあきらめて

エ 寒さに立ち向かいながら

3

次のア～エのうち、本文中の――線部②のさし示す内容として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 飛んでいる昆虫と、葉の上にとまっている昆虫
- イ 上昇気流が発生する土手の斜面の上方と、大規模な鶏舎の付近の草原や農耕地
- ウ 巣と巣の間が離れているときと、巣と巣が近接しているとき
- エ ひなが巢内で過ごすときと、ひなが市街地などの電線や街路樹で過ごすとき

問題は、次のページに続きます。

4 次の表は、本文中で述べられているシジュウカラ、ツバメ、カワセミの習性のうち、「すみ場所や採食習性」と「季節移動」についてまとめたものです。あとの(1) (3)の問いに答えなさい。

鳥の名前	すみ場所や採食習性	季節移動
シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> ・森や林にすむ。 ・巣は、木の幹や太枝にできる樹洞<small>じゅどう</small>につくる。巣箱も好んで利用する。 ・繁殖期<small>はんしゅき</small>には、つがいごとに広い あ を占有<small>せんゆう</small>する。 ・春から夏にかけては、ガやチョウなどの幼虫を主食とする。秋から冬にかけては、動物質のものの以外に い も多く食べる。 ・春から夏にかけては、一羽ずつあるいはつがいですす。秋から冬にかけては、群れになって採食する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離<small>ちやうきより</small>の季節移動は、する必要がないのではない。
ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・空中生活をする。 ・巣は、現在では人家の軒先<small>のきさき</small>やコンクリート建物の壁面<small>へきめん</small>などにつくる。 ・巣の周囲だけを狭い あ として防衛する。 ・昆虫などを主食とする。 ・採食条件などに応じて、単独で採食したり群れになったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯地方では、秋冬期には飛翔<small>ひしやう</small>昆虫などがいなくなるか激減するため、南方の地域<small>わたくし</small>に渡って越冬する。
カワセミ	<ul style="list-style-type: none"> ・河川<small>かせん</small>や湖沼<small>こしやう</small>にすむ。 ・巣は、水辺あるいは水辺から少し離れた崖地<small>がけち</small>の壁面につくる。 ・繁殖期にはつがい、秋冬期には一羽ずつで広い あ をかまえる。 ・止まり場で見張りつつ、魚が近づいてくるのを待って捕<small>とら</small>える。 ・そばにはほかの鳥がいると効率よく採食できないため、群れにはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯地方の水面が凍<small>こ</small>らないところでは、 う ため長距離の季節移動をしない。

(1) あ に共通して入る適切な言葉を本文中からひらがな四字でぬき出しなさい。

(2) い に入る適切な言葉を本文中から八字でぬき出しなさい。

(3) う に入る適切な内容を本文中から十三字で探し、最初の三字をぬき出しなさい。

5 次のア～エのうち、本文中で述べられている内容として適しているものを二つ選びなさい。

ア シジュウカラの生態において、ひなが孵化し、生長する時期は、主食となる昆虫の幼虫がもつとも多く発生する時期と一致する傾向がある。

イ ツバメのひなは、巣を出てすぐに空中生活をするため、同じ大きさのほかの小鳥のひなと比べて、十分に生長する前に巣を出る。

ウ 鳥以外の生物でも、類縁の近い近縁種の間で、すみ場所と社会構造との関連は見られたが、採食習性と繁殖習性との関連は見られなかった。

エ 自然界の中で、一つひとつの生物の種が固有の生態的地位を占めて存続することができるのは、それぞれが独自の生き方することによるものである。

【三】 竹本さんの学級では、国語の授業時間に「興味を持ったことについて、インタビューを活用して班で調べて発表する」という学習に取り組むことになり、竹本さんの班は植物園の楽しみ方について調べることになりました。竹本さんの班は植物園を訪れ、竹本さんは班を代表して、植物園で職員をしている高橋さんにインタビューをしました。次の「インタビュー」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビュー】

竹本さん はじめまして。緑山中学校の竹本と申します。今日は私が班を代表してインタビューをします。お聞き

したことは班のメンバーでまとめて、クラスで発表したいと思います。よろしくお願いします。

高橋さん 緑山植物園の高橋です。こちらこそ、よろしくお願いします。

竹本さん さっそくですが、植物園の楽しみ方について、教えていただければと思います。

高橋さん わかりました。では、私から二つの楽しみ方を提案したいと思います。植物そのものを楽しむことと植物園のイベントを楽しむことの二つです。まず、植物そのものを楽しむことについてお話しします。国立科学博物館の資料によると、世界には知られているだけでも約二十七万種の植物があるとされているのですが、竹本さんは知っていましたか。

竹本さん えっ、約二十七万種ですか。そんなに多いのですか。

高橋さん はい。そして、それら一つひとつの植物に独自の^{とくちよう}特徴があるのです。観察を通してそれぞれの植物の特徴に気づくことはとても楽しいと思います。

竹本さん 観察を通してそれぞれの植物の特徴に気づくとはどういうことなのか、もう少し教えてください。

高橋さん 観察とは物事の様子や変化を注意深く見ることです。植物園で、よく知ろうとして植物の様子や変化を注

意深く見ると、形や色、大きさなどの点で、個々の植物には違いちががあることがわかるようになってきます。たとえば、似たような葉の形の植物を比べて見て、「こちらの葉に比べて、あちらの葉にはギザギザがない」などということがわかるようになってきます。観察を通して特徴がわかった植物を街中などで見かけると、おもしろくなって、ますます植物のことを知りたくなるのではないのでしょうか。

竹本さん

植物の様子や変化を注意深く見ると、個々の植物には違いがあることがわかるようになって、ますます植物のことを知りたくなるということですね。では、私たち中学生が植物園で植物を観察する時には具体的にどのようなことから始めるのがよいのでしょうか。

高橋さん

花は特徴がわかりやすいので、花の観察から始めるのがよいと思います。多くの植物園で用意されている開花情報のリーフレットを使うなどして、行った時期に咲さいている花の観察から始めてみてください。どのような形や色をしているか、いつからいつまで咲くのかに注目してみましよう。気になった花は写真に撮とって、くわしく図鑑ずかんで調べたりするのもよいでしょうね。

竹本さん

咲いている花の観察から始めればよいですね。わかりました。

高橋さん

次に植物園のイベントを楽しむことについてお話します。多くの植物園ではさまざまな植物を取り上げたイベントが行われているので、それに参加すると楽しいと思います。イベントを行う目的は、イベントに参加することで植物と植物園に親しみを感じてもらうことです。たとえば、この緑山植物園では、季節ごとに咲く花をテーマにしたイベントを開催かいさいしています。春には桜をテーマにしたイベントをしているんですよ。

竹本さん

お聞きしたいのですが、

A

高橋さん

いろいろな種の桜を鉢植はちうえにした展示会や有志の方たちによる桜をテーマにした写真展や絵画展などです。

桜の花びらで本のしおりを作る体験型イベントも毎年実施しています。

竹本さん

きれいな桜の花びらでしおりを作るなんてすてきですね。その体験型イベントに参加してみたいです。

高橋さん

はい。楽しいと思いますよ。以上の二つが、私の考える植物園の楽しみ方です。

竹本さん

植物園の楽しみ方についてわかりやすく説明していただき、ありがとうございます。

高橋さん

中学生のみなさんには、いろいろな機会に植物園を訪れてみてほしいということをお伝えしたいですね。

竹本さん

わかりました。今お聞きしたこと他にも、何かメッセージはありませんか。

高橋さん

植物園に行った時にわからないことがあれば、私たち職員に質問してほしいです。そして、植物園で経験したことをもとにして、興味^{はんい}の範囲を日常生活のなかで接するいろいろな植物へと広げていってほしいということも伝えてください。

竹本さん

はい。クラスの発表では、お聞きした植物園の楽しみ方といただいたメッセージをしっかりと伝えたいと思います。今日はありがとうございました。

1 次のア～エのうち、「インタビュー」中の――線部①にみられる竹本さんの発言の意図として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア インタビューに協力してもらうことに対するお礼を伝えようとした。
- イ インタビューの内容をどのように活用するかを伝えようとした。
- ウ 今回が初めてのインタビューであることを伝えようとした。
- エ 事前に班でまとめた植物園のイメージを伝えようとした。

2 次のア～エのうち、「インタビュー」中の の部分にみられる竹本さんの発言の工夫として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 直前の相手の発言内容を受けて、自分が知りたいと思ったことを質問している。
- イ 具体的な例をいくつかあげながら、相手の発言内容を確認する質問をしている。
- ウ 相手の発言内容と自分が調べたこととの違いを明らかにして質問している。
- エ 自分の質問を相手に理解してもらうために、もう一度同じ言葉で質問をしている。

3 「インタビュー」中の A に入る質問を、前後の文脈に合わせて十五字以上、四十字以内で書きなさい。

4 竹本さんの班はインタビューの内容をふまえて、発表の時に提示するための資料を作成しています。次の【資料1】、

【資料2】を読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【資料1】

植物園の楽しみ方



1 植物そのものを楽しむ

観察を通して ことが楽しい。

→ 個々の植物には違いがあることがわかるようになる。

観察について

- ・特徴がわかりやすいので、花の観察から始めるのがよい。
- ・写真に撮って、図鑑で調べたりするのもよい。



【資料2】

植物園の楽しみ方



2 植物園のイベントを楽しむ

さまざまな植物を取り上げたイベントが行われている。

→ ② イベントに参加することで親しみを感ずることができる。

緑山植物園でのイベントの例

- ・季節の花をテーマにしたイベント

春は桜をテーマに、展示会、写真展、絵画展、
花びらを使ったしおり作成 など



- (1) 【資料1】中の

B

 に入る適切な内容を【インタビュー】中から十四字で探し、最初の四字をぬき出しなさい。

- (2) 竹本さんは【資料2】中の——線部②の内容を伝わりやすくするために、次の【書きかえた文】のように書きかえました。あとのア～エのうち、竹本さんが書きかえた理由として最も適しているものを一つ選びなさい。

【書きかえた文】

イベントに参加することで植物と植物園に親しみを感じることができる。

- ア 親しみを感じることができるのは、緑山植物園だけであるということを示したほうがよいから。
- イ 植物そのものよりもイベントに親しみを感じることが大切だとわかるようにしたほうがよいから。
- ウ 親しみを感じることができる対象が、植物と植物園であることを明確にしたほうがよいから。
- エ それぞれの植物園の特徴がわかるように、具体的なイベントの内容を書き加えたほうがよいから。

5

竹本さんの班の松木さんは、班を代表して発表原稿^{げんこう}を作ることになりました。あなたが松木さんなら、どのように書きますか。次の【発表原稿の一部】中の **C** に入る適切な内容を、前後の文脈に合わせて、【インタビュ】中の言葉を使って六十字以上、八十字以内で書きなさい。

【発表原稿の一部】

…………… (省略)

そして、インタビュの最後に高橋さんから私たち中学生に向けて、三点のメッセージをいただきました。一点

目は

C

三点目は植物園での経験をもとにして、興味の範囲^{はんい}を日常生活のなかで接するいろいろな植物へと広げていってほしいということです。

みなさん、植物園に行き、植物園を楽しみましょう。以上で私たちの班の発表を終わります。

問題は、次のページに続きます。

【四】 川本さんの学級では、一人ひとりが報告文を書くことになりました。川本さんは干し野菜について調べて報告文を書くことにしました。次は、川本さんが書いた【報告文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【報告文の下書き】

家庭でもできる干し野菜

川本 ひろみ

1 はじめに

私は、祖父が干し野菜を作って料理に使っているのを知り、祖父といっしょに干し野菜を作ってみたいと思った。そこで、干し野菜は家庭ではどのようにして作るのか、生の野菜とどのような違いがあるのかについて調べた。

2 調査の結果

(1) 干し野菜とは

干し野菜は、生の野菜を乾燥かんそくさせて作る食材である。干し野菜にする野菜にはいろいろな種類がある。

(あ)

(2) 家庭での作り方

野菜は洗って適当な大きさに切り、水分をふき取る。切った野菜をざるなどにならべて、風通しと日当たりのよい場所に置く。時々裏返ししながら、水分がぬけて野菜が乾燥aさせるまで数時間から数日間をかけて干す。ただし、夕方以降や湿気しっけが多い時には、その度たびごとに保存容器に入れて冷蔵庫にしまうようにする。

(3) A との違い

① 保存に関して：野菜は水分を多くふくむので、長期間の保存には向かない。しかし、しっかりと乾燥させることで、水分がぬけて腐りにくくなり、長く保存できる。そのため、家庭で生の野菜がたくさん余った場合に、干し野菜にして保存すれば、野菜をむだなく使うことができる。たとえば、さつまいもは、乾燥させて保存用の袋に入れると、常温で約三週間保存できるとされている。

② 味と栄養に関して：野菜は生でもおいしく食べられるが、干し野菜にすると味が凝縮されて濃くなる。生の野菜の時とはかたさや口のなかでのほぐれ方が違うので、新しい食感を楽しめる。大根のように、乾燥させると栄養成分が増える野菜もある。

3 まとめ

干し野菜について調べてみて、風通しなどに気を配って、必要な期間をかけてしっかりと乾燥させて作ることがわかった。また、干し野菜にすることで長く保存できるということと、味が濃くなり、新しい食感を楽しめ、栄養成分が増えることがあるということもわかった。今回調べたことをふまえて、干し野菜を作ってみようと考えている。

4 参考資料

- ・『簡単にできる干し野菜』（○○○○著 △△出版 二〇二三年）
- ・「干し野菜の栄養成分について」（○○○○協会 二〇二五年 <https://www.....>）

（江間三恵子『乾燥食品の文化と変遷』などにより作成）

1 報告文の正しい書き方として適していないものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 集めた情報から、伝える相手や目的に応じて必要なものを選んで書く。
- イ 読み手の立場に立つて、表現や言葉の使い方などが適切かを考えて書く。
- ウ 集めた情報を整理して、伝えたい内容の構成や展開を考えながら書く。
- エ 説得力を持たせるために、不確かなことも根拠こんきょにふくめて意見を書く。

2 次のア～エのうち、【報告文の下書き】中の に書かれている内容を説明したものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 報告文のテーマを選んで発表する方法について述べている。
- イ 報告文のテーマを選ぶ際のきっかけについて述べている。
- ウ 報告文を作成する際に注意すべき点について述べている。
- エ 報告文を作成する際に苦労した経験について述べている。

3 【報告文の下書き】中の A に入る適切な言葉を【報告文の下書き】中から四字でぬき出しなさい。

4 川本さんは、【報告文の下書き】を読み直してみて、よりよい内容にすることを考えています。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 川本さんは、【報告文の下書き】中の(あ)の部分に次の文を書き加えることにしました。あとのア～エのうち、川本さんが次の文を書き加えた理由として最も適しているものを一つ選びなさい。

たとえば、大根・にんじん・れんこん・さつまいも・なすなどがある。

ア 干し野菜についてどのようにして調べるかがわからないから。

イ いろいろな種類の野菜がどのようなかがわからないから。

ウ 野菜を乾燥させるために必要な時間と方法がわからないから。

エ 乾燥させた野菜をなぜ干し野菜と呼ぶのかがわからないから。

(2) 川本さんは、【報告文の下書き】中の——線部aが誤っていることに気づきました。——線部aを適切な形に書き直しなさい。

5 川本さんは、【報告文の下書き】中の——線部bを次の【資料の一部】をもとにして書きましたが、友人の原

田さんからアドバイスをもらい、書きかえることにしました。あなたが川本さんなら、どのように書きかえますか。

あとの【書きかえた文】中の B に入る適切な内容を、あとの条件にしたがって書きなさい。なお、数字や記号を使う場合はあとの〔例〕にしたがって書くこと。

【資料の一部】

状態が^{ちが}違う大根の 100g あたりの成分量

	水分	炭水化物	カルシウム	ビタミンC
単位	g	g	mg	mg
生の大根	94.6	4.1	24	12
切干大根 (乾燥状態) * 1	8.4	69.7	500	28
切干大根 (ゆで) * 2	94.6	4.1	60	0

* 1 生の大根を切って乾燥させたもの。

* 2 生の大根を切って乾燥させてから水でもどした後にゆでて水切りしたもの。

(文部科学省「日本食品標準成分表」により作成)

【原田さんのアドバイス】

今のままでは野菜を乾燥させたときの効果が伝わりづらいので、参考にした【資料の一部】の数値を示して、大根のどの栄養成分がどれくらい増えたのかを具体的に書いたほうがよいと思うよ。



【書きかえた文】

乾燥させると栄養成分が増える野菜もある。たとえば、大根は、生のものと、切って乾燥させてから水でもどした後にゆでて水切りしたものとを、100gあたりの成分量で比較した場合、

B

。

条件1 数値を用いて具体的に書くこと。

条件2 前後の文脈に合わせて十字以上、三十字以内で書くこと。

〔例〕

12.3
g

50
mg

五

次の文章は、亭主^{ていしゅ}と友達が話している場面を書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(『1の富』^{いちのふ}による)

1 本文中の~~~~線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文中に——線部①とありますが、何を「ためしたい」と言ったのですか。次の文中のAに入る適切な言葉を本文中から七字でぬき出しなさい。

うにかうるをAのかどうか。

3 次のア～エのうち、本文中の――線部②を現代語に直したとき、「蜈蚣^{むかで}」の直後に入る単語として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア が
イ に
ウ へ
エ で

4 次のア～エのうち、本文中の――線部③の主語として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア うにかうる
イ 友達
ウ 亭主^{ていしゅ}
エ 蜈蚣

5 次は、本文の内容について、春山さんと秋川さんが交^かわした【会話の一部】です。あとのア～エのうち、【会話の一部】中の **B**、**C** に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選びなさい。

【会話の一部】

春山さん この話には、亭主の持っているウニコールという薬についての、亭主と友達とのやりとりが書かれているね。

秋川さん 話の中で、友達がそのウニコールという薬は **B** と言ったので、亭主はためしてみたんだ。

春山さん その結果、ムカデは全然おそれる様子がなかったんだね。

秋川さん それに対して、亭主が不機嫌^{ふきげん}そうに、ムカデが **C** と言い返したのがおもしろいね。

B | **C**

ア 本物ではないか | にせ物かもしれない

イ 本物ではないか | にせ物かはわからない

ウ にせ物ではないか | にせ物かもしれない

エ にせ物ではないか | にせ物かはわからない